



日本赤十字社

# 赤十字おきなわ

第61号

2019.11



## 赤十字ふれあいフェスティバル



- ・平成30年度歳入歳出決算報告
- ・日本赤十字社沖縄県支部の活動

人間を救うのは、人間だ。Our world. Your move.

# 日本赤十字社沖縄県支部の活動

## 4月



### 1. 赤十字事業担当課長研修会

市町村の赤十字担当課長・担当者・地域赤十字奉仕団対象に「赤十字事業担当課長研修会」が読谷村で開催されました。2日目には、地域向けに実施している「防災プログラム」のグループワークを行いました。炊き出し訓練では、ハイゼックス（炊出袋）を用いて非常食を炊き上げ、カレーを試食しました。

### 2. 赤十字災害救護連絡車の引渡式

うるま市地区、中城村分区へ赤十字災害救護連絡車の引渡式を実施し、比嘉幹郎副支部長からうるま市の島袋地区長、中城村の浜田分区長へマスコットキーの贈呈が行われました。比嘉副支部長は「地域住民の健康や安全を守る諸活動に活用してほしい。」と、島袋地区長は「備えあれば憂いなし」、浜田分区長は「赤十字の諸活動をより一層進めたい」とあいさつがありました。



### 1. 日本赤十字

日本赤十字社が行われました。資機材等の使用

### 2. 愛の献血

「愛の献血助成金」にて実施された献血を配布し、広域チーム「琉球

## 5月



### 1. 赤十字活動資金出発式

赤十字の創始者であるアンリー・デュナンの生誕月である5月は、一人でも多くの方々に赤十字活動を知っていただくために、全国一斉に「赤十字運動月間」が展開（実施）されました。各地区分区では、赤十字の活動資金を募集するための出発式が地区分区長・地域赤十字奉仕団・自治会長・赤十字関係者出席のもと行われました。

### 2. 赤十字ふれあいフェスティバル

広く県民に赤十字思想の普及啓発を図り赤十字事業についてより一層のご理解とご協力をいただくとともに、身近に赤十字を感じていただく機会として赤十字ふれあいフェスティバルを開催しました。県内の赤十字4施設（日本赤十字社沖縄県支部、沖縄赤十字病院、沖縄県赤十字血液センター、日赤安謝福祉複合施設）が共催で開催し、緊急車両・救護物資等の展示、非常食の炊き出し試食、救急法体験などの催し物を行いました。



### 1. JRCT

青少年赤十字技術を取得するトレーニングセンター「良いリーダー」プログラムを通して、

### 2. 青少年赤十字

青少年赤十字（高校生）及び指導員（青少年赤十字メンター）等を行いました。

## 6月



### 1. 奉仕団対象防災セミナー

地域住民の方々が、自ら災害からいのちを守り、被災に伴う心身の苦痛を軽減することを目的とし、防災セミナーが実施されました。災害・防災についての考え方や、平時の備えの重要性、防災上の危険箇所等の把握・理解に関する研修が行われました。

### 2. 水上安全法救助員養成講習会

6月10日からの4日間「赤十字水上安全法救助員養成講習会」がプールやビーチの監視員を対象に実施されました。受講生からは、「あらためて水への対応を考えさせられた」「水難事故が起こらないよう、監視体制を見直していきたい」などの感想がありました。



### 1. ワールド

赤十字では、日本国内をはじめ、海外では、不慮の事故・災害に備えて頂きまし

日本赤十字社では「苦しんでいる人を救いたい」という思いを9つのかたちにして活動しています。



災害時、いち早く救護班などを被災地に派遣し救護活動を行います。県内の赤十字4施設が協力し、訓練や人材育成、物資の整備など常に災害に対応できる体制を整えています。

国内災害救護



身近な人を救うため、AEDを使った心肺蘇生や日常生活で起こりうる病気やけがの手当や日常生活での事故防止など、健康安全に関する知識・技術の普及を行っています。

救急法等の講習



「困っている・苦しんでいる人の役に立ちたい」という方々の思いを結集し、自身の持つ知識や技術を活かし県内の各地域で活動しています。

赤十字ボランティア



学校の先生が指導者となり、「健康・安全」「奉仕」「国際理解・親善」を実践目標として学校内外で活動を行います。その実践活動の中で「人を思いやる気持ち」を育みます。

青少年赤十字



災害や紛争、病気などに苦しむ人々を救うため、世界最大のネットワークを活かして、緊急時の救援や復興支援、保健衛生などの予防活動に取り組みます。

国際活動



赤十字の精神に基づき国際人道法や災害看護を学び、より豊かな人間性と看護に対する幅広い知識・能力を備えた人材を育成します。

看護師等の養成



# 7月

## 日本赤十字社沖縄県支部救護訓練

救護員として、災害時に迅速かつ的確な行動が行えるよう、救護訓練が災害時に手当の優先順位を決めるトリアージや災害時を想定した机上訓練、救急法について研修を行い、救護活動に必要な知識や技術を身に付けました。



## 助け合い街頭キャンペーン

「助け合い運動の街頭キャンペーン」が7月8日、パレットくもじ前イベント広場で開催されました。沖縄県、那覇市、赤十字奉仕団の協力を得て、キャンペーンチラシを配布し、県民に献血への理解と協力を求めました。また、地元プロバスケットボール「ゴールデンキングス」の選手も応援に来て頂きました。

# 8月

## トレーニングセンター（リーダー研修）

小中高校のリーダーを集めて、赤十字活動やボランティア活動の知識とスキルを学ぶため、8月9日から8月11日の3日間、『石川青少年の家』でJRCトレーニングセンターが開催されました。生徒・引率教員合わせて70名以上の参加がありました。研修内容は「防災学習」「救急法」「フィールドワーク」など様々なプロジェクトを通じた交流を深めました。



## 赤十字海外派遣

実践目標「国際理解・親善」の一環として、青少年赤十字メンバー（高校生）等をベトナムへ派遣しました。8月17日から8月23日の日程で、現地青少年赤十字メンバーとの交流及び意見交換、日本赤十字社が支援する災害対策事業の視察を行いました。

# 9月

## ワールド・ファーストエイド・デー

今年9月の第2土曜日を「ワールド・ファーストエイド・デー」と位置づけ、世界中の赤十字で救急法普及イベントを開催しています。沖縄県支部でも、急病に対する救命処置の知識と技術を学ぶため、「ワールド・ファーストエイド・デー」を9月14日（土）に開催し、多くの人にAEDや救急法の実技を体験しました。



那覇市初の「地域災害拠点病院」として地域及び県内における災害救急医療に貢献します。また、「地域医療支援病院」として地域との連携を密にした医療活動を行います。



医療事業



病気の治療などで輸血を必要とする人を救うため、献血を受け付け、安全な血液製剤を24時間体制で医療機関へお届けしています。



血液事業

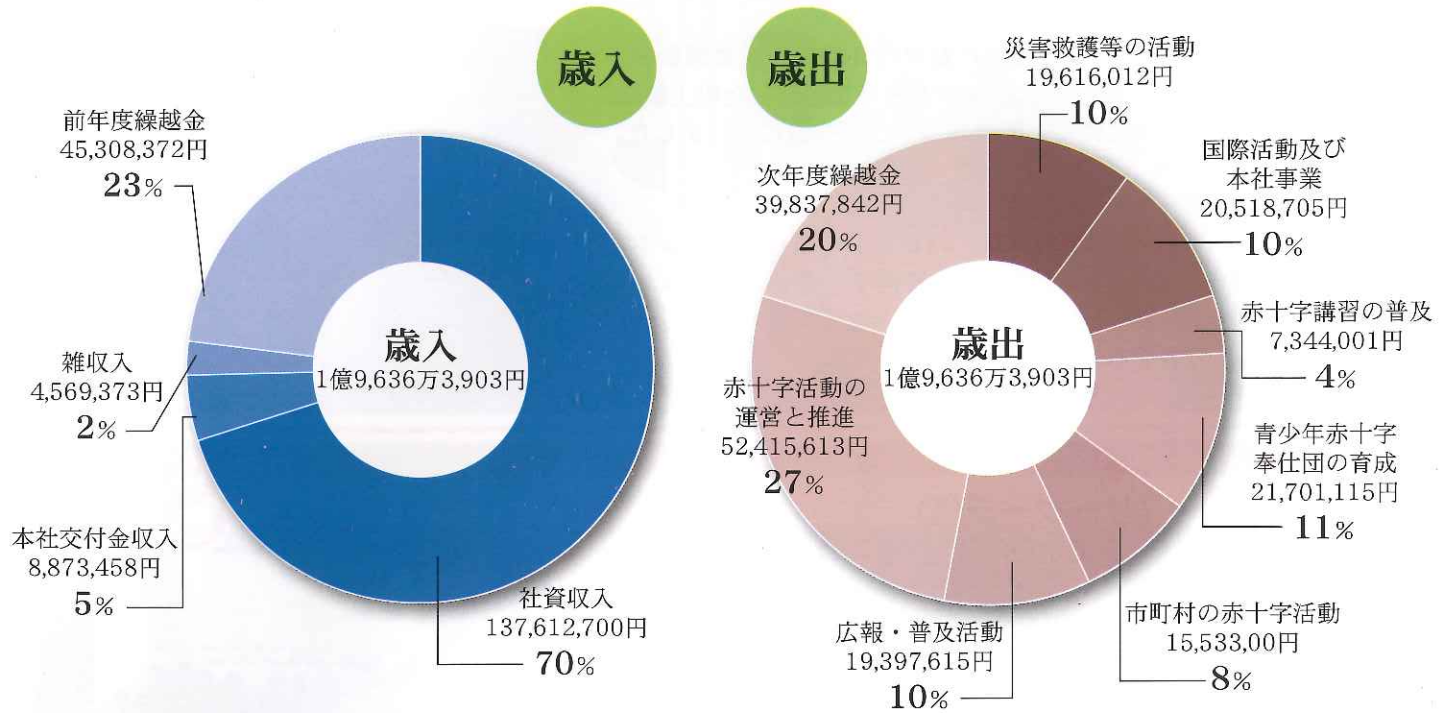


安謝小学校に隣接する「日赤安謝福祉複合施設」は、世代間交流、地域間交流、施設間交流を展開し、高齢者や児童、地域住民が安心安全に利用できるよう活動を行っています。



社会福祉事業

# 平成30年度日本赤十字社沖縄県支部出決算報告（一般会計）



平成30年度歳入歳出決算につきましては、令和元年6月4日に開催されました「第85回評議員会」で審議され、承認されました。

## 平成30年度義援金・救援金受付状況

受付名	金額
・東日本大震災義援金	6,914,820円
・平成28年熊本地震義援金	3,128,591円
・平成29年7月5日からの大雨災害義援金	199,295円
・平成30年大阪府北部地震災害義援金	270,145円
・平成30年7月豪雨災害義援金	64,535,223円
・平成30年北海道胆振東部災害義援金	6,921,317円

※受付金額については、当県支部口座扱いのみの金額になります。

県民の皆さまからの温かいご支援により、平成30年度も赤十字活動を展開することができました。心より感謝いたします。



# 赤十字の活動資金にご協力をお願いします

県民の皆様には、日頃から赤十字事業に対し温かいご支援を賜り、心から感謝申し上げます。

日本赤十字社は、災害時の救護をはじめ、講習普及事業、ボランティアの育成、国際活動、医療、献血事業など、人びとの健康で安全な暮らしを守るため、幅広い活動を行っています。

これらの活動は、皆様から寄せられる活動資金によって支えられており、活動を推進していくためには、一人でも多くの方々のご協力が必要です。

何卒、赤十字の趣旨、活動の目的をご理解いただきまして、お力添えを賜りますようお願い申し上げます。

日本赤十字社沖縄県支部

## どうすれば赤十字に協力できますか？

- 1 毎年5月の赤十字運動月間を中心に、地域の町内会・自治会などのご協力により、ご寄付を募っています。
- 2 日本赤十字社沖縄県支部やお住まいの市町村役場の赤十字担当窓口で受付しています。
- 3 銀行からお振込みいただけます。  
※手数料が免除となる専用の振込用紙がありますので、沖縄県支部までご連絡ください。
- 4 指定の預金口座から自動引落でご協力いただけます。  
※専用の振込用紙に必要事項を記載していただく必要がありますので、沖縄県支部までご連絡ください。
- 5 クレジットカードの決済でご協力いただけます。  
※日本赤十字社のホームページ (<http://www.jrc.or.jp>) からお手続きをお願いします。
- 6 遺贈によるご寄付や相続財産のご寄付でご協力いただけます。

## 表彰制度があります

日本赤十字社の活動資金にご協力いただいた場合は、その金額に応じて表彰制度を設けています。

銀色有功章	20万円以上に達した方
金色有功章	50万円以上に達した方
日本赤十字社 社長感謝状	金色有功章受章後、 50万円以上に達した方

※そのほか、国の表彰もあります。



## 税制上の優遇措置が受けられます

日本赤十字社にご寄付いただいた活動資金は、個人の所得税や企業などの法人税での優遇措置が受けられます。また、ご遺族が相続された財産を日本赤十字社に寄付することによって、相続税での優遇措置が受けられます。



日本赤十字社  
Japanese Red Cross Society

沖縄県支部

那覇市与儀 1-3-1 ☎ (098) 835-1177

日本赤十字社沖縄県支部

検索

沖縄赤十字病院

那覇市与儀 1-3-1 ☎ (098) 853-3134

沖縄県赤十字血液センター

那覇市与儀 1-4-1 ☎ (098) 833-4747

日赤安謝福祉複合施設

那覇市安謝 2-15-2 ☎ (098) 862-4321